

「あなたが見るべきもの」

～手遅れになる前に～

ルカ 16:19～31

今の現代、人のことはどうでもよい、自分さえよければそれでよいという人が多いです。時が経つのは早く、世の中で大きな出来事が起こっても、あっという間に忘れ去られてしまうのが現状です。でも私たちはそんな過ぎ去っていくものに価値をおいてこだわってしまいます。それでよいのでしょうか。戦争、飢餓、津波、地震、異常気象・・・これらのことが今世界で起こっています。そしてこのことは聖書の中でも書かれていることなのです。(マタイ24章)だからこそ私たちがしっかりと目を向けていないといけなことがあるのです。(ルカ16:1～)今日の聖書の箇所には、ラザロと金持ちの二人の人が出てきます。救われたラザロは貧しい人でした。だからといって聖書では繁栄を禁じているわけではありません。繁栄や祝福がなんのためにあるのか、そのことから目をあやまって、繁栄が人生の基で、これさえあればよいとなることがおそろしいのです。今、私たちは教会で祝福を願います。しかし大切なのは私たちがラザロになるのか金持ちになるのかなのです。ラザロとは”神の恵みを求める人“という意味でした。この時はまだ天国がなかったので死後はアブラハムのふところに入ると言われていました。なぜラザロは入れて金持ちは入れなかったのでしょうか。貧しさの中でも神の恵みを求める姿が美しいと言われました。貧しくても神の恵みを求めるラザロはアブラハムのふところすなわち、信仰によって守られていたのです。今あなたの生活はどちらでしょう。あなたが祝福されているとしたらなぜなのか考えましょう。神様が大切にしているのはプロセスを経た結果なのです。結果オーライではありません。今のあなたの生活スタイルが神の祝福を受けたときにふさわしいかどうか大切なのです。そのふさわしさとは、あなたが見ているべきものを見ているかどうかなのです。あなたはもっと幸せになることを求めているはずですが、あなたがそれをなぜ求めるのか、それがあなたのためだけに聖書に出てきた金持ちと同じです。この金持ちは自分が導かれなかった時、どういう態度をとったでしょう。この金持ちには多少改心する気持ちもありました。しかしラザロのことは見下げた続けたままだったのです。自分を満たす道具として豊かさを用いるのであれば意味がありません。人を見下すような人は豊かになってもその天の御国には入れません。繁栄とは神の栄光を現す事です。今あなたの生活から神様が見えているでしょうか。中途半端ではいけないのです。今、聖書に書かれている世の終わりに起こるほとんどのことが起こっています。その時クリスチャンは引き上げられると書かれています。しかし今のあなたの生活がどうであるかが大切なのです。あなたが幸せになったと思うのであれば、あなたの生活にイエス・キリストの香りを感じさせる部分を持ってください。そのために、ゲッセマネの祈りや飢え乾き、期待が必要なのです。あなたの生活の中で、あなたの行動1つが周りの人に愛を感じさせるものにもなり、濁すものにもなります。私たちの目線を変えましょう。あなたの幸せの結果、人が幸せになるわけではありません。多くの人があなたに感謝する結果、あなたが幸せになるべきなのです。祝福されるのには意味があります。神様が何の為にあなたを繁栄させ祝福しようとしているかももう一度考えて欲しいのです。あなただけのためにそれを用いるのであればそれはないものだと思います。得ているものを失ってもよいという思いがあればとられることはないでしょう。物や立場、自分の思いに目線が向いたとき、終わってしまいます。ハデスに送られてから、助けて下さいと言ってももう手遅れなのです。いづどんな事が私達の人生に起こるか私達では予測できないのです。だからこそ手遅れになる前に私たちが見るべきものは

①救い。神様はあなたの為に命をかけて死んで下さった。まずこの事に目をむけましょう。この地での繁栄や祝福を求める以上に、救いを求めて下さい。今あなたは毎日十字架が新鮮ですか？私たちは教会に来る理由を幸せになるためだといいますが、これが中心ではありません。それ以上に救われることが大切なのです。私達の為に命をかけて下さった方の思いがしっかりとあなたの心に刻まれているのでしょうか。この地上で忠実に働いて、その結果永遠の命を得る事が神の最終的な目的なのです。金持ちのような生活を送ってはいないでしょうか。目標を見失い、神の姿も見失ってはいないでしょうか。目の前に見える幸せだけの為に祈っていませんか？そのことから目線を変えて私たちのために十字架にかかってくれたイエス・キリストの恵みと、その十字架により自分の罪が赦されている事に確信を持ちましょう。あなたが今命を絶たれたとしてもラザロのように天に上げられる準備ができていますでしょうか。あなたの目線がもしズレているのならもう一度イエスキリストの救いに目を向けましょう。**②神の声、耳を傾ける。**私たちは毎週の礼拝で神の声を聞いています。神の御声を聞く時間よりも優先しているものがないでしょうか。神の声を聞く時間をムダにしないでください。神様は「こうすればこうなる」と言われます。だからこそその御声の通りに行動してみましょう。必ず、良い結果となります。やらないから結果が表されないのです。**③人々の救い 救霊の心。**今あなたの隣人に興味を持っていますか？私たちの目線を周りに向けましょう。友人・家族などあなたの大切な人を放っておいてよいのでしょうか？あなたの周りの人にはあなたしか語れません。あなたが伝える時、そのことを思って祈り、その人に愛を流す・・・それは伝道のためではありません。イエス・キリストの愛を流すためです。あなたが教会や様々な人から受けた恵みをあなたの周りに流すべきだから祝福されるのです。聖書では「蒔く種も備える」と書いてあります。流す人は自然と受け取る人になっています。あなたの幸せを伝えるために、あなたがしてください。周りの人を見て「かわいそう」と思うのであれば、金持ちと一緒に。今、あなたに用意された人に伝えてください。「主はその御目をもって、あまねく全地を見渡し、その心のご自分と全く一つになっている人々に御力をあらわしてくださるのです。」(Ⅱ歴16:9)あなたの心と神の心と一緒にあるなら人々を見たときに「あの人が救われてほしい」と願うはずですが。そしてあなたの周りに人が寄ってくるはずですが。今こそ、主の御言葉に耳を傾けましょう。そして見える幸せに目を向けるのではなく周りの人の救いに目を向けていきましょう。見るべきものにきちんと目が向いていれば、あなたは必ず成功するのです。